

京都から光の輪を！ - 企業連携による課題解決と新製品開発

京都光技術研究会のご案内



入会の条件は“光技術の活用に興味がある”こと。まずは気軽にお問合せください！

■ 活動趣旨

「京都から光の輪を」をコンセプトに、光技術を切り口として会員企業の連携による各社の課題解決や、新たな製品開発テーマの立ち上げを目的としています。

「企業連携開発システム」を活動のベースに

当研究会では基本的な活動のベースとして「企業連携開発システム」と名付けたスキームを採用しています。まずは会員企業それぞれの強みとなる技術や知見、課題や問題意識を擦り合わせてグループを作り、グループごとに共同で新製品開発を行い、事業化につなげようというものです。

企業連携開発システム（段階的活動）のイメージ

フェーズⅠ
擦り合わせとグループ化



光技術やその活用を切り口にしたテーマの立ち上げ

フェーズⅡ
グループごとに共同開発



グループ企業での事業シェア

フェーズⅢ
製品化技術の向上と事業化



事業化の例（製品開発と販売）
超広帯域空間光位相変調器
UV-NIR SLM
*現在は販売を終了

■ 活動内容

1) 定例会（例年8回）

- ・外部講師を招いての講演会
- ・グループごとの研究会（現在4グループが活動中）
- ・光技術のトレンドやニーズの汲み上げ など
- ・アドバイザーによる小講義

2) グループ別の技術検討会や見学会（随時）

3) アドバイザー派遣事業（随時）

会員の技術的課題解決を目的としたアドバイザーの派遣

4) 交流会（随時）

会員間の連携を促すための情報交換の場です。

5) 光ものづくりセミナーの企画（例年2回）

研究会の活動の中で浮かび上がってきた光関連技術のトレンドやニーズなどについて知見を深めるセミナーを企画し実施しています。京都府中小企業技術センターとの共催事業です。

6) 展示会への出展

首都圏等で開催される光技術関連の展示会へ研究会として出展しています。また同じブース内で会員企業が自社の製品を展示することもあります。

【近年の出展実績】

- ・OPE'18、'19 (横浜)
- ・InterOpto(2022) (東京)
- ・InterOpto(2023) (東京)



■ 会費

年度会費：20,000 円／社

- * 1社から複数名での参加が可能です。
- * 現在の参加会員数は27者です。

■ 運営体制

◆ 会長

山下 幹雄 / 北海道大学 名誉教授

◆ 代表幹事

早坂 昇 / TOWA株式会社
(TOWA レーザーフロント株式会社 代表取締役)

◆ 幹事

森田 貴彦 / 株式会社システムロード 代表取締役
須田 真通 / 株式会社大興製作所 代表取締役
渡辺 國寛 / マイクロシグナル株式会社 代表取締役

◆ アドバイザー

粟辻 安浩 氏 / 京都工芸繊維大学 教授
田中 智子 氏 / 同志社大学 講師
的場 修 氏 / 神戸大学 教授

中小企業のための本会の活動は、助走も含めて10年近くになります。特徴は次の3点です。

1) 毎回の講義、大学関係者4名を交えた例会、連携課題実現化。段階ごとのフェーズ会議により積み重ねていく製品化探求（成功例あり）

- 2) 年2回の全国からの大学、国研、企業による講演勉強会
- 3) ラボでの試作実験学習



このユニークな京都発の楽しい研究会にぜひ参加され、活用されることを願っています。

京都光技術研究会会長 山下 幹雄

■ お問合せ・入会申込先／事務局

京都府中小企業技術センター

応用技術課 電気通信係
TEL:075-315-8634 E-mail:denki@kptc.jp
<https://www.kptc.jp/kenkyukai/hikari/>

